

蜜蜂問題を話し合った際に、山本が被災地へ防潮堤の視察に行くことも話題に上がったのだ。その際に、総理夫人から「それであれば、是非会って頂きたい人たちがいる」となり、複数名の方を紹介され、その方々を視察日程の面談者リストに入れるように指示をすると、また復興庁から「その人たちには会わないで下さい」と連絡が来たのだ。理由は、懸命な読者ならば、もうお分かりだろう。彼らは反対派なのだ。勿論、山本は会うとの選択肢しか持ち合わせていないので復興庁の反対を跳ね除け会うこととした。が、それは復興大臣政務官としてではなく、一代議士として会うこととなった。従って、視察行程とは別に、視察後の夕刻以降に、面会時間を調整し、面会する会議室を自前で準備し、あくまでも山本が個人として会うことになった。勿論、日中はずっと一緒にいた復興庁の職員は蜘蛛の子を散らすようにその時間帯だけは見事に姿を消した。

これだけ視察を行うのに(省庁側からすると)問題を起こす議員も珍しいのだろう。だが、実際に現場に行き、呆気にとられるほどの強大な防潮堤を見て、それらに反対する人々

にも会い、建設を許可した地元の自治体の首長や職員にも会い、得るものは多かった。中でも気仙沼市長は、「市内の防潮堤を見て下さい。後世に残るひどいものです。市長でなければ賛成しなかった」と公言したのである。同席していた市の幹部職員も山本に帯同していた復興庁の職員も全員の顔色が変わったのは言うまでもなかった。しかし、防潮堤建設を決めるのは、国ではなく、県と自治体で決めることであり、その決定権者が言うのはおかしな話だ。一方、反対派の人たちと会うことで、彼らの要望が分かり、誤解が解けるなど問題を進展させることも出来た。

例えば、「国が示した基準の最大規模のものばかり造ってひどい」と指摘され、被災県の防潮堤を全て洗い出してみたところ約30%のものが地域の状況に応じて高さを下げるなどの見直しをしていたことが分かり、反対派の人たちにもその事実を知らせることが出来た。彼らから頂いた要望に関しても視察から戻り次第、復興庁に知らせ、回答を得て、彼らの要望に応えることも出来た。波乱含みの視察ではあったが、視察を終え、その後のフォローも無事に完了した時、山本の顔には笑みが浮かんでいた。

会議をするなら自由民主4区会館。



【自由民主4区会館】

JR鎌倉駅(西口)前にある自由民主4区会館は、山本ともひろの活動を支えるためだけに使うのではなく広く世に開放しています。2つの会議室を擁し、事前に予約をして頂ければ、ご利用頂けます。

但し、公職選挙法により無料で開放することが出来ません。従って右記の通り使用料を頂きます。

地域や町内の活動のための会議などにご活用頂ければ幸いです。定期的、或は商業目的にご使用になる場合はご相談下さい。



【第1会議室】



【第2会議室】

○自由民主4区会館 定員と使用料

種類と定員	使用料(円)		
	午前 9-12時	午後 13-17時	夜間 18-22時
第1会議室(15人)	1,000	1,000	1,000
第2会議室(15人)	1,000	1,000	1,000

住所:鎌倉市御成町12-4 JR鎌倉駅西口前

TEL: 0467-39-6933

あなたの駅は何枚でしょう？ ぽれぽれ通信 vol.24

山本ともひろ後援会機関紙「ぽれぽれ通信」を4区内の右記の駅で朝の6:30~8:30までの2時間駅頭活動をさせて頂き本紙を配布させて頂いております。雨の日は、鞄と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動は行っておりません。

9月と10月の配布状況は右の通りです。皆様のご利用の駅はどのような状況でしょうか？

ぽれぽれ通信の由来

ぽれぽれとは、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意味。一度に全てを変えることは無理だけど、それでも諦めずにゆっくりでも、少しづつでも政治を変えていきたい。それを誰かが、やらなければ、この国は良くならない。その活動を本紙でご報告します。／

9月	駅名	枚数	10月	枚数	前月比
15日(火)	逗子駅	412	1日(木)	415	△
3日(木)	新逗子駅	341	19日(月)	352	△
4日(金)	鎌倉駅(東口)	525	5日(月)	546	△
16日(水)	鎌倉駅(西口)	472	6日(火)	333	◆
29日(火)	大船駅(西口)	547	7日(水)	579	△
24日(木)	大船駅(モルル口)	342	8日(木)	420	△
28日(月)	大船駅(東口)	461	9日(金)	457	△
11日(金)	大船駅(笠間口)	297	22日(木)	557	△
30日(水)	本郷台駅	215	21日(水)	511	△
14日(月)	港南台駅	219	20日(火)	264	△
9月配布合計			10月合計		
3,831			4,434		

私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせ、政治を志すきっかけとなりました。だから、その国の言葉を使うことにしました。twitterやFacebookのアカウントのpolepoleもその思いからです。本紙をどうか末永くご愛読の程よろしくお願い申し上げます。

- | | | | | |
|-----------|-----------------|---------------|-------------------|-------------------|
| ・本部事務所 | 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 | 大久保ビル3F | TEL: 0467-39-6933 | FAX: 0467-39-6943 |
| ・国会事務所 | 東京都千代田区永田町2-1-2 | 第2議員会館 1110号室 | TEL: 03-3508-7193 | FAX: 03-3508-3623 |
| ・自由民主4区会館 | 神奈川県鎌倉市御成町12-4 | 山田ビル3F | TEL: 0467-38-6411 | |

ぱれぱれ



通信
vol.25

自民党
衆議院議員(3期 7年)
若さ・実績・情熱

山本ともひろ

第25号[11・12月号]

栄区 鎌倉市
逗子市 葉山町

40歳



巨大防潮堤を 視察するのは至難の業？

「“行かないで欲しい”と復興庁の担当者が言っています」、と秘書官から報告を受けた時、山本は「やっぱりね」と答えた。山本が被災地に建設中の防潮堤の視察を企画し、もっとも強大なものを見に行けるように行程を組んで欲しいと秘書官に指示し、秘書官が復興庁の担当部局に打診をした際に、上記の答えが返ってきたのである。

山本が「やっぱりね」と答えたのには、理由があった。実は、復興庁から「行かないで欲しい」という返答を貰ったのは、今回で2度目だったからだ。昨年の9月に復興大臣政務官に就任してから防潮堤に関して活動をされている人たちより「勉強会を開催するので参加して欲しい」と連絡があった。常日頃、山本は日程さえ合えば、誰とでも会うことにしている。勿論、連絡先を知らせないなど不審な方とは会わない。先方は、是非参加して欲しいので、山本の日程に合わせて勉強会を企画する、とのことだったので、話はトントン拍子で進むと思われていた。が、復興庁から「行かないで欲しい」と連絡があり、山本を驚かせた。当初、山本は、復興庁の担当者も一緒に参加しようと考えていたのである。しかし、同庁からの返答は、そもそも参加しないで欲しいという山本の考えとは真逆であり、当然、担当者も参加するつもりはなかった。その理由が、更に山本を驚かせた。「その勉強会を主催している人たちは反対派の人たちです」と。

「反対派だろうが賛成派だろうか、会って話をしてみないと何も分らないし、変わらない。こちらの言い分も、その勉強会でしっかり聞いてもらえばいいことだ」と、山本の参加しようという積極的な考えは一向に変わらなかつた。しかし、復興庁の考えもまた一向に変わらなかつた。その勉強会は、山本が参加し易いように、と山本の地元で開催するとまで打診されていた。そこで山本は

「では、復興大臣政務官としては参加しない。但し、地元の行事に地元の代議士として参加する、と復興庁に言っておいてくれ」と秘書官に告げ、自己責任で本年2月に地元の鎌倉で開催された「防潮堤を考える会」に参加したのであった。防潮堤に関しては、そのよう

な経緯があったので、視察を企画した段階で、充分に予想された返答だったので「やっぱりね」と口から出たのである。

しかし、それで「はい、そうですか」と引き下がらないのが山本である。「絶対に行く」と復興庁に伝えたところ、「では、行って頂いても結構ですが、強大なものではなく、ごく普通の防潮堤を見て頂きます」との返答があり、山本を三度驚かせた。が、「一番大きなものを見に行く。その行程を作るよう」と指示を出し、今回は復興庁が根負けをし、本年9月に巨大防潮堤を復興大臣政務官として見に行く視察が成立した。と、安心したのも束の間、また更なる問題が生じた。かねてより地元の葉山を中心とした三浦半島地域で蜜蜂が大量に失踪するという事案があり、蜂群崩壊症候群ではないか、との疑いもあり対策に乗り出していた山本が、安倍昭恵総理夫人が総理公邸で蜜蜂を飼育し始めたことを知り、総理夫人の情報発信力などを頼りに一度話を聞いてもらおうと、安倍総理に相談したところ「公邸の巣箱も2箱あったのが、1箱いなくなったんだよ」と仰り、「それは、ひょっとすると私が対策を講じている蜂群崩壊症候群と同じ現象かもしれません」となり、早速、昭恵夫人を訪ね、《ウラ面へつづく》

政治家って普段何してるの？！

誰もが疑問に思うこと！その疑問に山本ともひろが、twitterとFacebookを使いお答えします。そこには、普段考えもしなかった政治家の活動や苦悩があります。アクセス、フォローお待ちしております。



twitter
@ty_polepole



facebook

facebook.com/ty.polepole

衆議院議員 山本ともひろ プロフィール

昭和50年(1975年)生まれ 40歳 鎌倉在住

- 関西大学 卒業 ○京都大学 大学院 修士課程(法学) 修了
- (財)松下政経塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選 ○平成24年 衆院選 2期目の当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成26年 衆院選 3期目の当選
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任